

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	近例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	Wkly Epidemiol Rec 2007; 82: 169-178	2006年12月21日にケニアで10例の患者がリフトバレー熱(RVF)と確定診断され、WHOは翌日、警告を発した。ケニアでは2006年11月30日～2007年3月12日に死亡155例を含む684例が、ソマリアでは2006年12月19日～2007年2月20日に死亡51例を含む114例が、タンザニアでは2007年1月13日～2007年5月8日に死亡117例を含む290例が報告された。ヒトへのRVF伝播の最も重要な暴露因子はウイルス血症の動物(ニッジ、ヤギ、ウシ、ラクダ)の血液および体液との接触であった。
												チクンガニヤウイルス感染	ProMED-mail20070531.1757	2007年5月31日、インドKeralaで約25,000人がチクンガニヤの症状で入院していると保健当局は発表した。Kottavam, Pathanamthittaなどの地区では数千人以上が外来治療を受けている。この病気は蚊により拡がるが、南部地方ではここ2～3週間に蚊が大発生した。食料配給ならびに蚊帳や噴霧器の提供が承認された。
												C型肝炎	HPS Weekly Report 2007; 41(23): 189-190	イングランドおよびスコットランドの全域の病院におけるC型肝炎患者の症例記録のレビューが実施された。このレビューは、C型肝炎に感染した2人の医療従事者(HCWs)から患者へのC型肝炎伝播が明らかとなったことに端を発する。2005年に実施された2件の再調査は、このようなC型肝炎5症例を特定した。これらの患者は当該HCWsによって最も侵襲性の高い処置を受けていた。UKAPの報告を受け、NHSトラストは他の全ての侵襲性のある処置を受けていた患者に通知を行っている。
												コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail20070821.2009	ロシア Stavropol 地方におけるクリミアコンゴ出血熱(CCHF)が2006年よりも2倍高い発生率を示している。2007年6月13日現在、Stavropol 地方の12地域でCCHFと認定された23症例において、73%は動物との接触を介した感染であり、27%は自然界での感染であった。16例はダニによる咬傷を受け、5例は保護していない手でダニを取り除いていた。同地域では165名の入院患者がCCHFであると予想された。ダニに咬まれた小児の数が増加していることから、当局はダニ対策の重要性を強調している。